

# トムトム通信

トムトムは  
ハンディのある方とご家族のための  
会員制のサービスセンターです。

第1号 99年10月発行 発行人：上杉桂子 TEL/FAX (0467)58-8335

## 《トムトム誕生!!》



～地域に根ざしたサービスを～

パーソナルサービスセンター

「トムトム」代表 上杉桂子

「この子は一体どうなっちゃうんだろう・・・。」

「小さい頃はお母さんと一緒でも、大きくなった時友達ができるかどうか・・・」

「学校があるときはいいよ、でもその後は？」

「親がいなくなっても家で暮らせるの？」

障害児をもつ親の脳裏に一度はよぎる、こんな不安の数々は、今の社会の仕組みの中で、当然と言えば当然の気持ちです。けれどこんな先の見えないカオス（混沌）の中に段々と一つの光が見えてきました。

“誰かがいれば解決できる！”

そう、家族も友達も彼らを支えてあげられない時に、それに代わる第三者さえいれば色々な事が、可能になっていく・・・。そしてそれは決して一つの場所で集合体として管理されることではなくて、ひとりひとりが「その人のまま」でいられる支援のことをいうのです。

99年1月、茅ヶ崎市の分庁舎で市民主催による障害児支援セミナー“豊かな育ちを支援するために”が開催されました。医療・福祉・教育と色々な視点から子供たちの問題が取り上げられ、およそ100人の参加者による話し合いがもたれました。その時にクローズアップされた「障害児の余暇活動」の問題については、その後準備委員会が立ち上げられ、約半年間の討議の上、パーソナルサービスセンター“トムトム”として、支援の形が実現したのです。トムトムのサービスは365日、24時間オープンで、障害の種別、年齢、預かる理由も問いません。又通常のパーソナルサービスに加えて、色々なイベントも行います。この夏も、昨年市内親の会が主催したサマースクールを引き継ぎ、4クール20日間かけて開催し大変好評でした。

～ようやく生まれた利用者本位のサービス～でもそれは、彼らがただ“あたりまえの暮らし”を手に入れるための当然あるべきサービスでもあるのです。けれどその“あたりまえ”を維持することの難しさは、これから立ち向かわなければいけない大きな問題です。“トムトム”の光が、地域に根づいていつまでも輝き続けるよう、皆さんの力をお貸しいただけたらと思います。

**\*トムトムのスタッフ、運営委員です。どうぞよろしく!!**

■常勤スタッフ：柏原正矢（介護支援専門員・社会福祉主事）

山本奈央（社会福祉主事・児童指導員）

■非常勤スタッフ：後藤一恵、高橋孝子、松尾紀子、和田エンデルレマリア

■運営委員：上杉桂子（代表・円蔵）田尻順子（菘園）上田晴男（翔の会）

原田香里（本村）、鈴木七子（甘沼）、高橋和江（浜見平）、

藤田里恵（赤羽根）金泰子（今宿）、柏原、山本 計10名



**\*現在までの主な活動**

**★休日イベント第1弾「トムトムで思いきり絵を描こう」7月18日**

翔の会の松永さんを講師に招き、おーきな紙に思い思いの画材を使って楽しくアートしました。大胆にもトムトムの外壁にまでローラーを使って色塗りする子もいて、皆、手足を七色に染めながら（?）、次々と芸術作品を生み出していました。屋外でのびのびしながらの楽しい時間でした。（会員5名、ボランティア75名参加）

**★サマースクール（全4期） 7月26日～8月28日**

延べ参加人数 48名、ボランティア62名

※ 後ほど詳しく報告しています。

**★「なんでも夜市」に出店（於：茅ヶ崎中央公園） 8月6日**

とにかく資金稼ぎ!!ということで 素人が集まって、焼きトウモロコシ、お菓子、飲み物を販売しました。お隣の店の生ビールにはカンパイしたものの（うまい!）、商いのおもしろさに目覚めた仲間も……。次は11月3日のふれあいまつりだ!!不安定な天候の中、お手伝い下さった皆様。有り難うございました。

**★どんな風にトムトムを利用したのかな?**

7月2日から始まったパーソナルサービスですが、会員さんはどうトムトムを利用しているのでしょうか?

第1位はプール遊びの付き添い（季節柄圧倒的!）その他は、通院時の付き添い。親御さんの買い物の間付き添い。自宅で一緒に留守番。横浜まで一緒にサーカスを見に行く、なんて言うのも……。 「子どもが、家族以外の人とどこかへ出かけて楽しめることが今まで考えられなかった。自分のお兄さんやお姉さんができたような楽しさを味わっている（Kさん）」 「急な用事ができたときも、トムトムに頼めるという安心感がある（Fさん）」などうれしい利用者の方々の声です。

## サマースクールが無事に終わりました

ハンディのある子供たちや、その家族にとって長い夏休みをいかに有意義に過ごすかは、大きな問題です。そういう中で昨年、茅ヶ崎の親の会「ドーナツの会」が主催したサマースクールは、画期的な試みとして、大きな反響がありました。今年も、豊かな余暇活動を支援する絶好の機会として、このサービスをトムトムが引き継ぎ、行いました。予想通り、ニーズは高く定員を上回る申し込みがあり、場所、期間等の希望に添えない方も出てしまいました。朝9時半から4時半まで、ボランティアの方達とプールに行ったり、粘土遊びをしたり、買い物に行ったり、おやつ作り、ボーリングやカラオケ。最終日は湘南台文化センターへ遠足にも出かけました。「スクール」と銘打ちながら、基本的には、マンツーマンの活動で、一人一人の子供さんのペースに合わせてことができました。いつもとは、ちょっと違う夏休みの5日間を過ごしていただけたと自負しています。しかし、改善すべき点も指摘されました。それを踏まえ、来年はよりよいサマースクールにしていきたいと思っています。

### \*お世話になった皆様、お疲れさま、ありがとうございました!!

サマースクールの20日間。本当にたくさんの方々活動を支えていただきました。拠点となった香川公民館をはじめ、翔の会施設「鬼瓦」、プールや教室等を利用させていただいた茅ヶ崎養護学校、白浜養護学校、浜の郷小学校、香川小学校の関係者の方々。ボーリングやカラオケ、そして送迎や飲み物に至るまで無料提供して下さった今宿のBIG WAVEさんには本当に感謝しきれません。道具をお借りした鎌倉養護学校の方々。おかげで楽しい時間を過ごす事ができました。猛暑の中での車の運転、子供たちと遊んでくれた延べ62名のボランティアの皆様ありがとうございました。それから素敵な笑顔を見せてくれた48名のみんな、また来年もお会いしましょう。





◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ ◆ 茅ヶ崎子どもサポートネット 池本正恵

8月の最終週に中1日休んで、半日ずつ4日間だけ(サマースクールの)お手伝いさせていただきました。6才から17才まで6人の子ども達には、それぞれ1~2人の学生ボランティアの方がついていましたので補助的なことをしただけですが、それなりにコミュニケーション出来たかなと思います。こちらからの働きかけで子ども達が笑顔を見せてくれると嬉しいものです。いつもにこにこしている子、はしゃぎっ放しで楽しんでくれたお子さんもいましたが、あまり笑顔を見せてくれなかった子が、お姉さんのスキンシップ、じゃれ合いで、声をあげて笑っているのを見たときは、とても明るい気分になりました。身体を使っての遊び、あるいは気持ちや要求をこちらが理解して受け入れてあげた時などに、笑顔で応えてくれるようです。

私達は、普段ハンディを持った方や車いすの方に接する機会があまりにも少ないと思います。健常者ばかりの社会はかえって不自然、不健康だとも言われます。このような活動でお互いに色々な人たちとコミュニケーションをとる機会を増やして頂けたらと思います。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ ◆ 民生委員主任児童委員 西澤充

頭で理解することと体験を通して感じることの違いは「百聞は一見にしかず」という古くからの言葉がありますが、改めてそれを感じました。主任児童委員として「トムトム」設立のための勉強会等に出席させていただいてお母様方をはじめ、ご家族のご苦勞もよく理解できたと思っていましたが、今回サマースクールに関わることができ、より一層深く心に刻まれるものがありました。子供たちは、それぞれに個性があり、差も多く、一瞬も目を離せません。ご家族の緊張の連続と、切実な危機意識を理屈ではなく共感する事ができました。

この世の中は何をなすにも完全ということはありません。「トムトム」に集まる子ども達にとって社会があまりにも無理解であることは、残念ながら避けがたい現実です。「トムトム」の存在は、子供たちにとってもそのご家族にとっても、重要な意味を持つものであると思います。動き出したばかりの団体のため、改善しなければならぬことも多いと思います。又、その活動に不満の点を見いだされる方もおられることだろうと思います。しかし、このような「余暇支援」というものが、組織化されたという事は、意義深いものだと思います。

主任児童委員として何ができるのか、と一言に関しましては、行政への働きかけや広報活動(事あるごとに周囲の理解を促すための働きかけ等)、更に個人的にトムトムの日常活動を支援するボランティア活動くらいしかできません。それを思うと無力さを感じると共にお母様方から「どうせ、他人事ではないのか」という批判の声が上がっても仕方のない程、何もできないのが現状です。しかし、自己満足かも知れませんが何もしないより少しでもこの問題を考え、働きかけることをしていきたい。現在のように不況が続くと、まず福祉関係が犠牲になる社



### \*トムトムは10月7日に移転します\*

10月7日、トムトムが（すぐお隣ですが）、引っ越します。翔の会さんのご厚意により、新築のグループホーム1階の一部分をお借りできる事になりました。ニュートムトム(?)はバリアフリーで、16畳のリビング、4.5畳、6畳の洋室（フローリング）と、ぐんと広くなりました。共用ですが、身障者用の風呂、トイレも備わっており、車いすの方々にも不自由なく使っていただけます。また宿泊の利用にも十分対応できます。お近くにお越しの際は、新しいトムトムをご覧になって下さい。また近々、お披露目を兼ねたイベント（10月24日（日））としてカレーライスパーティーを予定しております。是非ご参加下さい。

なお、移転しても電話/FAX番号等に変更はありません。



### \*学童クラブいよいよ開始！\*

学童クラブが9月21日（火）からスタートとなりました。小学生対象で当面は火曜日と木曜日、週2回のサービスとなります。利用いただける時間は、1時から5時です。放課後、スタッフが学校まで迎えに行き、トムトムで過ごした後は自宅までお送りすることもできます。これから火曜日、または木曜日は、「トムトムの日」にしませんか？。定員までまだ余裕があります。是非お問い合わせ下さい。（まだ利用会員になっていない方は、これを機に会員になりませんか？

また学童クラブのみ利用できる「学童クラブ会員」も募集しています。）

### \*10月～12月中旬に《体験利用》してみませんか？\*

一人でも多くの方にトムトムのサービスを知ってもらうために10月～12月15日の2カ月半、体験利用を行っています。対象は会員以外の方で1時間の利用料は1500円です。（但し、会員の予約を優先。送迎は別料金）。「トムトムを利用したいけれど、いきなり登録となると・・・」という皆さん。この機会を是非利用してください。ご予約をお待ちしています。

### \*ふれあいまつりのバザーにご協力をお願いします\*

11月3日（祝）茅ヶ崎中央公園でのふれあいまつりに出店します。おでんやクッキーなどの食品、手芸品、日用品などの販売を考えていますが、①当日のお手伝い、②事前の準備（お菓子の袋詰め等）、③簡単な手芸品の作製をお願いいただける方を大募集しています！又、お家で眠っている贈答品（新品、又は同様のものに限る）も集めています。是非ご協力をお願いします。

お問い合わせは、バザー担当の鈴木（TEL:51-3676）、

高橋（TEL:87-4177）までお願いします。

**\*トムトムの運営は厳しい状況です**

行政から何の補助もないゼロからのスタートということで、予想されてはいましたが、現在、財政は危機的な状況にあります。埼玉県ではトムトムの行っているようなパーソナルなサービスを98年から「障害児(者)生活サポート事業」として位置づけ、補助をし、活動を支えています。私たちも行政に対し、利用する人が内容を決めるこのサービスの必要性を訴え、財政的な支援を強く求めています。

**会員を大募集中です!**

皆様のご支援をよろしく申し上げます!!

トムトムは会員制のサービスセンターです  
是非、あなたも正会員、利用会員になって一緒にトムトムを支えて下さい。  
学童クラブのみ利用したいという方には、学童クラブ会員もあります。  
又、私達を側面から支えて下さる賛助会員(個人、団体)も求めています。  
賛助会費は、年1口 3,000円からです。皆様のご協力をお願い致します。

**\*これからのイベント等予定**

10月16日(土) 休日イベント「からだ・おとで遊ぼう」

: 会員対象 (於) 香川公民館

10月24日(日) 新居お披露目「カレーライスパーティー」(於) 新トムトム

11月 3日(祝) 「ふれあいまつり」に出店。(於) 茅ヶ崎中央公園

11月28日(日) 休日イベント「電車に乗って出かけよう」: 会員対象

★いずれも、詳しくはお問い合わせ下さい。

★休日イベントもますますパワーアップしていきます! ご期待下さい!



「トムトム」へのお問い合わせは、お気軽に!

〒253-0071 茅ヶ崎市萩園1624

TEL/FAX (0467) 58-8335

緊急用携帯電話 (090) 4625-5767

郵便局口座番号 10250-75536841

《名義: パーソナルセンター「トムトム」》

<http://www05.u-page.so-net.ne.jp/gf6/tom-tom>